

寒天で遊んだよ！ はな組

先日、みんなで寒天遊びをしました。
冷蔵庫で冷やした寒天は、冷たくていい気持ち。また、初めて触る
感触に、子どもたちからは、「つるつる〜。」「つめたーい。」など、
たくさんのつぶやきが聞こえてきました。

思い切りぐちゃぐちゃにつぶしたり、つぶしたものをカップに
いれたり、自分なりの遊び方で楽しみました。



つめたいね〜
つるつる〜



わけて〜
つるつるする〜

さわいた〜い！
わたしも〜



ぐにゅぐにゅ〜
まぜまぜ〜

あか〜、きいろ〜
まぜまぜ〜
あ！おれんじに
なってきた〜



にぎ、にぎ！
にぎ、にぎ！

かっぱに
いれよう〜

寒天は、色、形、硬さ、冷たさなど、五感をたくさん使って遊べます。色や透明感を「見る」、冷たさやぶるぶるした感触を「触る」、動かしたときの音を「聞く」など、こうした感覚経験は、幼児期の発達にとっても重要で、遊びの中で感じる感覚の刺激が心を開放し、成長を促すといわれています。子どもたちも、寒天の感触を楽しみ、自分の感じた思いをたくさん伝えていました。